

News Release

家族葬のファミリー 都心に近い森のまち・流山に初出店

『ファミリー流山ホール(千葉県流山市)』

10月30日(金)オープン 3日間オープニングキャンペーン実施

株式会社家族葬のファミリー(本社:東京都港区、代表取締役:中道康彰)は、グループ累計87店舗目となる家族葬ホール「ファミリー流山ホール(千葉県流山市)」を2020年10月30日(金)にオープンします。都心から一番近い森のまち、流山市に初出店です。

近年のお葬式で、千葉県内でも急速に普及している「家族葬」の専用葬儀場です。当社は、家族葬を手掛けて20年の葬儀社であり、新ホールは県内16店舗目、東葛エリアで8店舗目の直営施設となります。流山市近隣エリアへの出店を拡大し、“地域いちばんの家族葬”を提供して参ります。

また、10月30日(金)～11月1日(日)には、オープニングキャンペーンを行います。



オープニングキャンペーンで見学相談会を開催します。取材をご希望の方は広報事務局までお問い合わせください。

■ 3日間オープニングキャンペーン

近隣にお住いの皆様へ「はじめまして」のご挨拶を兼ねたオープニングキャンペーンを10月30日～11月1日に開催します。ご予約不要でどなたでもご参加いただけます。

キャンペーン中は式場のご見学やお葬式のご相談、お見積りのご提示など、お客様のご希望に合わせてご対応いたします。ご見学者にはGODIVAクッキーアソートメントをプレゼントいたします。

■ 豊四季駅からアクセス抜群「1日1組・貸切」のセレモニーホール

「ファミリー流山ホール」は、東武アーバンパークライン「豊四季駅」から徒歩10分、車で5～6分とアクセスしやすい立地にあります。外観は周囲の環境にあわせて木目がのぞくベージュ基調にしており、森のまちの住宅街に溶け込んでいます。

建物内部は広いロビーに、ご家族の思い出話が弾むようなメモリアルコーナーを設置しています。祭壇と家族控室を近い位置に配置し、心ゆくまで故人様のそばにいられる設計になっています。

霊柩車・搬送車用の駐車スペースを建物ビルトインタイプにして、悪天候時にもお客様が雨風に当たらないようにしています。近隣の視線を遮る造りなので、お葬式をされている方もご近所の方も過大な配慮をする必要がありません。

「家族葬」は、多くの参列者が集う儀礼儀式とは異なり、ご家族や親しい人たちと比較的自由な形で見送るお葬式です。当社の家族葬ホールは適度に小規模で、自宅のようにくつろげることをコンセプトとしています。また、他の誰にも気兼ねせずに過ごせる「1日1組」の貸切です。最期の時までそのご家族ならではの過ごし方ができます。

■ 自宅葬から一般葬、そして家族葬へ。葬儀の形は常に社会の変化を映し出してきた

葬儀の形はその時々の世相や家族のあり方を映ししながら、進化を続けています。戦後主流であった自宅葬は一般葬に置き換わり、現在は家族葬へのシフトが進んでいます。(下表参照)

◇ 葬儀形式の変遷、その時代背景

時代	主流の葬儀形式	葬儀の概要と時代背景
戦後～昭和中期	自宅葬	通夜・葬儀・告別式を含めて、自宅で行うお葬式。場合によっては寝ずに儀式の全てを取り仕切るため、遺族の負担が大きい。一億総中流化・核家族化・女性の社会進出などで激減。
昭和後期～平成	一般葬	専用の葬祭場で行われ、多くの参列者が訪れるお葬式。産業構造の変化や都市部への人口流入が進み、葬儀には親類縁者・近隣住民のみでなく、会社関係者などが多く参列するように。それに合わせて大規模な葬祭会館も全国に数多く建設された。
平成終盤～令和	家族葬	家族と親しい人で行う比較的小規模で自由度の高いお葬式。平均寿命の伸長等を背景に都心部を中心に広がっていたが、新型コロナウイルス感染症の大流行により、全国的に普及が加速。

大切な家族を長らく暮らした愛着のある場所から旅立たせてあげたい。しかし、昔ながらの自宅葬は家族等の負担が大きく難しい……。老老介護ならぬ“老老葬儀”も増える中、生活圏内における手頃な家族葬ホールの存在は、地域住民の安心感につながるものと考えます。家族葬のファミリーユは、流山市に所縁のある方々の旅立ちをお手伝いし、最期まで安心して暮らせる街づくりに貢献してまいります。

■ 高齢化が進む千葉県・流山市のエリア内事情 75歳以上人口は3倍近くに

千葉県流山市における75歳以上の後期高齢者人口は11.9%（全国平均：14.7%）と、20年前の7,017人から23,421人へ約3倍に増加しています（当社調べ）。増えつつあるご高齢の皆様をサポートし、よりお近くで地域に密着したご葬儀を執り行うために、流山市への新規出店を決めました。流山ホールの近くには柏駅西口ホールや柏十歳二ホールがあり、いざという時の選択肢が3つに増えます。この東葛エリア（柏・松戸方面）は8店舗体制、京葉エリア（船橋・八千代方面）も同じく8店舗を構えて、千葉県内でのファミリーユのネットワークをさらに拡大・強化していく計画です。

参考：千葉県 HP 千葉県年齢別・町丁字別人口令和2年度[2020年（令和2年）4月1日現在]

<https://www.pref.chiba.lg.jp/toukei/toukeidata/nenreibetsu/>

■ 店舗概要

店舗名 : ファミリーユ流山ホール
 オープン日 : 2020年10月30日（金）
 住所 : 千葉県流山市野々下5丁目1074-3
 アクセス : 東武アーバンパークライン
 「豊四季駅」から
 徒歩10分・車で約6分
 JR常磐線「柏駅」から車で約10分
 駐車場 : あり
 建物構造 : 鉄骨造平屋建
 敷地面積 : 795.81㎡
 建築面積 : 309.5㎡
 施設内容 : ホール30席、会食18席
 電話番号 : 0120-365-024



■ 家族葬の専門葬儀社として設立 20 周年。3 月に親会社（持株会社）が上場。

家族葬のファミリーは、2000 年に第 1 号の家族葬ホールを出店し、今年（2020 年）で設立 20 周年を迎えました。当初から「家族葬」をブランド化し、家族の絆が深まるご葬儀を提供し続けています。直営ホールのみならず、全国にある 1,000 箇所のお斎場で 10 万件以上のご葬儀実績があります。

直営ホールは、1 号店の出店から現在（9 月末）までに撤退した店舗はありません。これにより、顧客への葬儀サービスの安定供給と地域雇用に寄与しています。

事業の成長力を認められ、今年 3 月には親会社（持株会社）の「きずなホールディングス」が東証マザーズに上場しました。7,000 社以上あるとされる葬儀社で 5 社目の上場企業です。

将来的には、47 都道府県への出店と葬儀サービスの提供を目指しています。

■会社概要

株式会社家族葬のファミリー

- 【設立】 2000 年 7 月
- 【代表】 代表取締役 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6431（代表）／FAX 03-5427-6433（代表）
- 【従業員】 441 名（2020 年 5 月末日時点、出向者を除き、パート・契約社員・派遣社員含む）
- 【資本金】 100,000,000 円
- 【売上高】 7,875 百万円（2020 年 5 月期）
- 【事業内容】 ・葬儀葬祭に関する一切の業務
・フランチャイズシステムによる葬儀葬祭事業の展開
・「お葬式を家族のものに」のローガンのもと、
1 日 1 組限定の「家族葬のファミリー」及び邸宅型家族葬の「弔家の灯」を提供
・これまでの葬儀の価値観にない「家族の意向を汲んだ、家族のための家族葬」を提供
- 【URL】 <https://www.famille-kazokusou.com/>

株式会社きずなホールディングス

- 【設立】 2017 年 6 月
- 【代表】 代表取締役社長 兼 グループ CEO 中道 康彰
- 【住所】 東京都港区芝 4-5-10 EDGE 芝四丁目ビル 7 階
- 【連絡先】 TEL 03-5427-6432
- 【従業員】 505 名（グループ連結、2020 年 5 月末日時点、臨時雇用者含む）
- 【資本金】 153,360,000 円（2020 年 5 月 31 日現在）
- 【証券コード】 東京証券取引所マザーズ市場 7086
- 【売上高】 7,676 百万円（グループ連結、2020 年 5 月期 IFRS 基準）
- 【事業内容】 ・グループ全体の経営戦略に関する立案、推進ならびに管理
・葬儀葬祭に関する一切の業務
- 【URL】 <https://www.kizuna-hd.co.jp/>

<報道関係者お問い合わせ先>

家族葬のファミリー 広報事務局

TEL：03-5411-0066 FAX：03-3401-7788 E-mail：pr@netamoto.co.jp

担当：小室（携帯：090-5537-8309）、杉村（携帯：070-1389-0175）